

第2回第3次稲美町男女共同参画プラン策定委員会の報告について

- 1 日 時：令和3年12月17日(金)14:15～16:20
- 2 場 所：いきがい創造センター ワーキングスペース
- 3 出席委員：田端和彦・高田智寿子・水田克美・安福 均・大村有里・赤松恭子
前田朋子・沼田 弘・山本勝也
- 4 事務局：丸山一也・岩崎大蔵
(株)ジャパンインターナショナル総合研究所 中山重寿・小山亜美

5 審議概要

第3次稲美町男女共同参画プラン（素案）について

(1) 施策の体系について

① 基本理念について

- ・第1回策定委員会で各委員からいただいた意見をもとに、「だれもが輝き ともに未来をつくるまち いなみ」とする。

② 基本目標について

- ・下記の3つを基本目標に掲げ、各重点目標に基づき、各課において具体的な施策を推進していくこととする。

<基本目標1>男女共同参画社会の実現に向けた意識の改革

<基本目標2>多様な暮らし方・働き方の実現

<基本目標3>だれもが安心して暮らせる地域の実現

(2) 冊子のタイトルについて

- ・「稲美町男女共同参画プラン(H14.3月)」、「第2次稲美町男女共同参画プラン(H24.3月)」に続いて策定するにあたり、タイトルは「第3次稲美町男女共同参画プラン」となるが、「男」「女」にとらわれず「すべての人が性別を意識することなく活躍できる」そんな願いを込めたタイトルとしたい。
- ・「ともに輝く未来のいなみ(第3次稲美町男女共同参画プラン)」を候補とする。

<各委員から>

- ・町民意識調査に回答した人の男女及び年齢別の記載があると分かりやすい。
- ・数値目標は10年後の目標値となっているが、年度ごとに細かく設定できれば進捗状況を把握しやすいと思う。
- ・目標値については、国及び県を参考にしながら稲美町の地域性等を考慮し、実態に応じた数値の設定が望ましい。
- ・町立図書館では男女共同参画に関する特設コーナーを設けているが、さらに増設を考えている。
- ・第2次プラン策定から10年が経過するため、継続して取り組む施策についても社会の変化に対応した表記の仕方に見直す必要がある。
- ・委員会や審議会等への女性の登用について、クォーター制の導入が現実的でない場合は、活躍する女性を応援する地域づくりや積極的な推薦が必要。

- ・女性活躍推進法に基づく計画の策定が中小企業も対象になってくるので、今回のプランに盛り込んでおく必要があるのではないか。
- ・病児保育については看護師が在駐する必要があるが、働く保護者への支援として検討願いたい。
- ・ワーク・ライフ・バランスを推進している企業等と協定を結び、入札等の際の条件にすることを検討してはどうか。
- ・DV等の被害者に対するシェルターの設置や、そこでの就業及び就学支援について記載する必要はないか。